

中国・台湾労働人権協会からの連帯メッセージ

敬愛する AWC 日本連絡会議の同志の皆さんへ

AWC 日本連絡会議の第 17 回総会の開催に際し、中国・台湾労働人権協会のすべてのメンバーは、同志たちの情熱、共同闘争のなかで知った剛毅さに敬意を評するものです。私たちは今回の総会が間違いなく成功し、同志たちがこのかんの運動を深く総括し、敢闘精神に富んだ今後の行動方針を確立することを確信しています。

過去一年来、地震と津波などの天災が広大な日本の人民に与えた犠牲と損失はこのうえなく大きく、この天災が福島にもたらした放射能汚染は日本政府の体制と政策上の深刻な誤りを暴露しました。

日本政府の被災者に対する賠償は遅く少ないものであり、その一方で、財界に奉仕し、新自由主義政策的な「復興計画」を推進しようとしています。日本政府は人民に鋭気を養わせ、怪我を治して痛みを止める長期計画をとらず、横暴にも財界が提出したいいわゆる「成長戦略 2011」を推進して、さらなる規制緩和をおこない、勤労人民の権利を顧みず、甚だしくアメリカ帝国主義と協力し、中国と朝鮮民主主義人民共和国の封じ込め、フィリピンへの駐留など侵略の野心に満ちた基地再編の新戦略を推進しています。

AWC 日本連絡会議の同志たちは長年、勇気と意志をもって帝国主義と粘り強く闘い、米日帝国主義の策謀・野心を暴露し、それに対抗してきました。それは私たちアジアの共に闘う同志の模範であり、私たちは皆さんの断固たる反帝国主義運動と柔軟な闘争戦略から多くのことを学んでいます。全アジアの人民は団結して立ち上がり、米日帝国主義を打倒しよう！

労働人権協会
会長 羅美文
執行長 王娟萍